



I B C 杯 第 34 回 青藍賞 (M2)

水沢競馬場 3 歳以上オープン・ダート 1 6 0 0 m

9 月 13 日 (日) 1 8 : 0 5 発走

青藍賞の創設は 1 9 9 3 年。第 1 回から第 7 回まで 2 0 0 0 m を舞台に行われましたが、第 8 回 (2 0 0 0 年) 以降は 1 6 0 0 m が舞台。1 着馬には J p n I 「第 39 回マイルチャンピオンシップ南部杯」(10 月 12 日・祝月) の優先出走権が与えられます。昨年はヒロシクンが完勝。史上 5 頭目の 2 連覇を果たしました。今年は前人未到の 3 連覇を目指します。

【注目馬情報】

★ヒロシクン セン 7 歳 佐藤雅彦きゅう舎・水沢

一昨年、中央 1 勝クラスから転入して重賞 7 勝。今季も始動初戦の赤松杯を逃げ切り、好発進を決めました。2 連覇を狙ったシアンモア記念はルコルセールスの 2 着に敗れましたが、続く A 級一組・初夏特別で 59 キロの酷量を背負いながらも鮮やかな逃げ切り勝ち。水沢 1 6 0 0 m レコードを大幅更新しました。一條記念みちのく大賞典はリケアカプチーノの 3 着、門別遠征・旭岳賞はベルピットの 2 着に終わりましたが、今度は 7 戦 7 勝とパーフェクト成績を誇る水沢 1 6 0 0 m が舞台。史上初の青藍賞 3 連覇へ王手をかけました。

★サクラトップキッド 牡 5 歳 伊藤和忍きゅう舎・水沢

昨年は J p n III・マーキュリーカップで 4 着に善戦し、金沢遠征 2 戦から帰郷して北上川大賞典 2 連覇を達成。さらにファン投票・桐花賞も優勝し、栄えある年度代表馬に選出されました。今春はダイオライト記念、川崎記念と南関東ダートグレードへ連続挑戦。地元に戻ってあすなろ賞 3 着、一條記念みちのく大賞典 4 着、マーキュリーカップ 9 着。今回の水沢 1 6 0 0 m は距離不足の印象もありますが、総合力でカバーします。

★ライアン 牡 7 歳 佐藤浩一きゅう舎・水沢

2 歳時に船橋重賞・平和賞を優勝し、一昨年 4 月に転入。地方交流・せきれい賞(芝からダート変更)、桐花賞と重賞 2 勝をマークしました。今シーズンは初戦を快勝して 2 戦目 2 着から重賞・あすなろ賞は 4 着に終わりましたが、みちのく大賞典でヒロシクンに先着 2 着を確保しました。放牧明けですが、勝ち負け必至です。

★リトルサムシング 牡4歳 千葉幸喜きゅう舎・水沢

J R A・川崎条件交流を快勝して金沢へ移籍。同地区の3歳重賞3勝をあげ、笠松を経て岩手入り。当初は苦戦を強いられましたが、盛岡マイル戦で2連勝を飾りました。再び重賞挑戦ですが、上昇ムードに乗っています。

★バトルバーリライ 牡10歳 新田守きゅう舎・水沢

南関東13勝・A2級から昨年10月に転入。着外がわずか一度のみの堅実さを誇り、今季2勝2着1回3着2回の好成績で古豪健在をアピールしています。メンバーは強化されましたが、上位崩しの可能性は十分あります。

★リュウノナポレオン 牡4歳 板垣吉則きゅう舎・水沢

昨年、南関東から転入後、5勝マーク。3歳重賞・ウイナーカップを優勝しました。今季は白嶺賞から始動して8着。その後は脚部不安が発生して休養を余儀なくされましたが、今回は休み明け3戦目と走り頃を迎えました。

文／松尾 康司